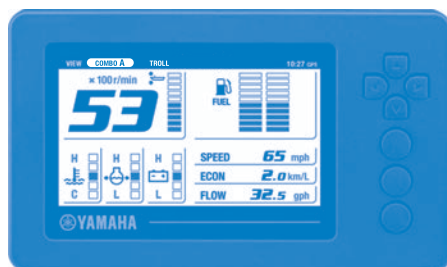




# コマンドリンク 6YC マルチファンクション メーター



## 取扱説明書

⚠ 本書をよく読んでからお使いください。

058178

6YC-2819U-00

この取扱説明書をよく読んでからお使いください。操船時は本書を防水バッグ等に入れ、船内に保管してください。

## お客様へ

この度は、コマンドリンク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、製品の正しい取扱い方法を説明しています。

万一、取扱いを誤ると重大な事故や故障の原因となります。取扱いを十分ご存知の方も、製品独自の装備や取扱い方法がありますので、ご使用になる前には必ず本書と船外機本体の取扱説明書をお読みいただき、またご使用時には携帯し安全快適なマリライフをお楽しみください。

本書では、正しい取扱いに関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 安全警告記号です。人身傷害の危険性がある場合にこの記号で注意を喚起しています。この記号に続くすべての安全事項を守り、傷害や死亡事故を防止してください。

### 警告

---

取扱いを誤った場合、死亡または重傷・傷害に至る可能性がある場合を示しています。

---

### 注意

---

取扱いを誤った場合、船外機または他の物的損害に至る可能性がある場合を示しています。

---

## 要 点

正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

- ・ 仕様の変更などにより、図や内容が一部製品と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ 本書は大切に保管して、コマンドリンク製品を転売や譲渡される場合は必ず添付してください。

---

このコマンドリンク 6YC マルチファンクションメーターは、エンジンとのデジタル通信により各種情報を表示できる多機能メーターです。

本書では、各種オプション部品（スピードセンサー、冷却水圧センサー、マルチセンサー、GPS、Y-COP）を取付け・設定した場合を想定して説明しています。

本製品が対応している船外機種は以下の通りです。

4ストロークモデル：  
フューエルインジェクションモデルのみ

<b>警報メッセージ</b> .....	<b>1</b>	<b>メニュー画面</b> .....	<b>18</b>
警報メッセージ .....	1	画面切替え操作 .....	18
メンテナンスメッセージ .....	2	機能 .....	19
<b>総説</b> .....	<b>3</b>	メニュー項目 .....	20
省略名称一覧 .....	3	トリップ情報のリセット (Trip) .....	20
<b>メーターユニット</b> .....	<b>4</b>	メンテナンススケジュール管理 (Maintenance) .....	20
<b>初期設定</b> .....	<b>5</b>	画面の明るさ調整 (Brightness) .....	21
搭載船外機数の設定 .....	5	画面のカスタマイズ (Favorites) .....	22
タンクセンサーの設定 .....	6	背景色の設定 (Color) .....	30
タンクセンサーの補正 .....	6	時刻の調整 (Clock) .....	30
トリム角度のゼロ調整 .....	9	表示単位の設定 (Units) .....	31
<b>メイン画面</b> .....	<b>10</b>	タンク設定 (Tank Set) .....	32
画面切替え操作 .....	10	メーターの初期化 (Reset) .....	33
COMBO .....	11	トリム角度のゼロ調整 (Trim Level) .....	33
ENGINE .....	12	燃料消費の補正 (Fuel Flow) .....	34
BOAT .....	12	故障コード (Trouble Codes) .....	34
TROLL .....	12	<b>付録</b> .....	<b>36</b>
警報表示 .....	13	計器の設置要件 .....	36
オーバーヒート警報 .....	13	計器のお手入れ .....	36
油圧低下警告 .....	13	テンプレート (実寸大) .....	38
水検知警報 .....	13		
バッテリー電圧低下警報 .....	14		
エンジン点検警報 / メンテナンス警報 .....	14		
Y-COP 表示 .....	15		
基本表示 .....	15		
タコメーター .....	15		
トリムメーター .....	15		
燃料レベル .....	15		
任意選択表示 .....	16		
トローリング回転数の調整 .....	16		

# 警報メッセージ

## 警報メッセージ

マルチファンクションディスプレイは、エンジンに異常が発生すると、警報表示（アイコン）とポップアップウィンドウ表示で操船者に知らせます。また、任意に設定した警報条件が発生した場合も、ポップアップウィンドウが表示されます。

複数の警報メッセージがある場合は、緊急度の高いポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウ表示中に [SET] ボタンを押すと、緊急度の高いものから降順に表示が切替わります。

ポップアップウィンドウには、「警報メッセージ」、「メンテナンスメッセージ」の2種類があり、それぞれ固有の色でメッセージを表示します。

「警報メッセージ」：赤色

「メンテナンスメッセージ」：黄色

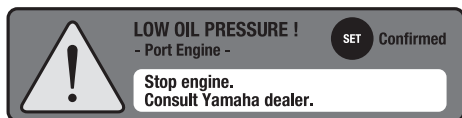
## 警報メッセージ

異常が発生した場合は、警報ごとの対処指示に従ってください。対処指示については、「警報表示」を参照してください。（13 ページ）



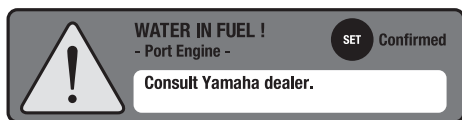
### オーバーヒート警報

エンジンの温度が異常に高くなると表示されます。



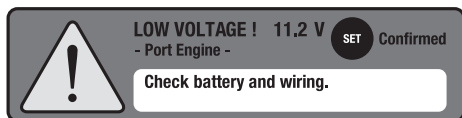
### 油圧低下警報

エンジン油圧が異常に低下すると表示されます。



### 水検知警報

燃料水分離器（燃料フィルター）に水が溜まると表示されます。



### バッテリー電圧低下警報

バッテリーの電圧が低下すると表示されます。



### エンジン点検警報

エンジンに異常が発生すると表示されます。

## メンテナンスメッセージ

メンテナンスメッセージが表示した場合は、点検整備を行い、メンテナンススケジュールのリセットを行ってください。リセット方法については、「メンテナンススケジュール (Maintenance)」を参照してください。(20 ページ)



## メンテナンス警報

メンテナンススケジュール時間を超えた場合に表示されます。

## 総説

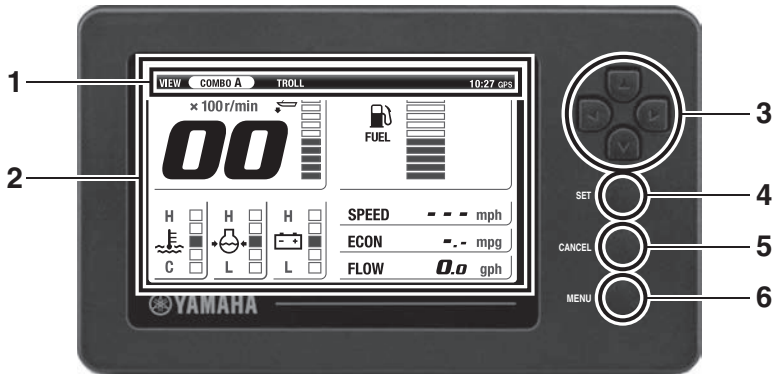
### 省略名称一覧

本書に使用される略語を以下に示します。

省略名称	説明
ABYC	米国ボートヨット協議会
EUR	欧州仕様
F	前進
GPS	グローバルポジショニングシステム
N	中立
R	後進
Y-COP	ヤマハ船外機盗難抑止システム (ワイコップ)



## メーターユニット



名称		機能説明
1	ステータスバー	時刻、選択しているメイン画面名称を表示 (GPS を取付けていない場合は、時刻と“GPS”アイコンは表示されません) ・時刻は 24 時間表示
2	マルチファンクションディスプレイ	エンジンの各種情報、ボート・環境情報、設定メニューなどを表示
3	十字キー	[▲▼] (上下) ボタン ・メイン画面の切替え ・メニュー画面のカーソル移動 (選択) ・トローリング運転時のエンジン回転数の調整
		[◀▶] (左右) ボタン ・メイン画面の切替え ・メニュー画面のカーソル移動 (選択)
4	[SET] ボタン	・決定 ・メニュー画面のカーソル右移動 ・メイン画面時のみ “BRIGHTNESS” 設定画面へ切替え
5	[CANCEL] ボタン	・キャンセル ・各設定画面からメニュー画面への切替え ・メニュー画面からメイン画面への切替え ・メニュー画面のカーソル左移動 ・トローリングモードの解除 ・メイン画面時のみ “TRIP” 設定画面へ切替え
6	[MENU] ボタン	・メイン画面からメニュー画面 (トップ) への切替え ・メニュー画面または設定画面からメイン画面への切替え

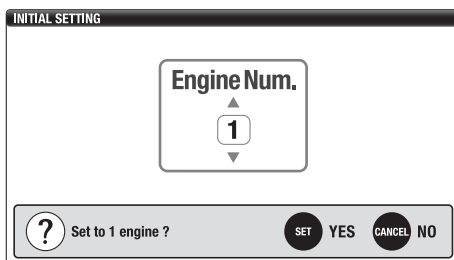
# 初期設定

## 初期設定

コマンドリンク6YCマルチファンクションメーターを最初に起動する場合、またはリセットした場合は、初期設定を行ってください。

### 要点

初期設定を行うときは、ヤマハ取扱店に相談ください。



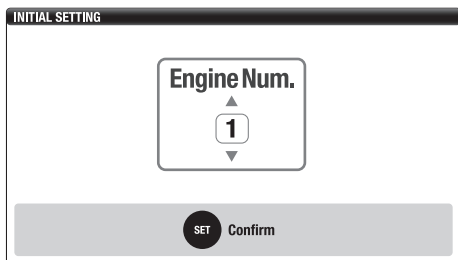
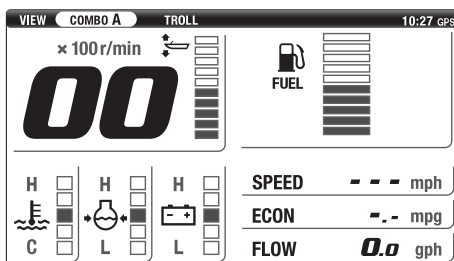
### 搭載船外機数の設定

1. エンジンスタートスイッチをオンにすると初期設定画面が表示されます。

### 要点

2 機掛け仕様の場合は、左舷エンジンからエンジンスタートスイッチをオンにしてください。初めにエンジンスタートスイッチをオンにしたエンジンを左舷側と認識します。

4. メイン画面が表示されます。



2. 十字キーの[▲▼] (上下) ボタンでポート搭載の船外機数を選択して、[SET] ボタンを押します。

1 : 1 機掛け仕様  
2 : 2 機掛け仕様

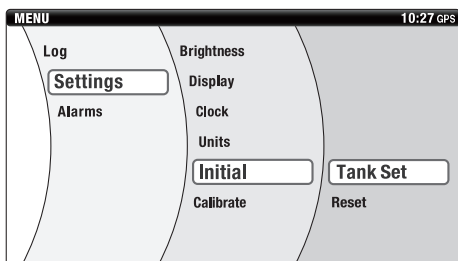
3. [SET] ボタンで確定します。

## タンクセンサーの設定

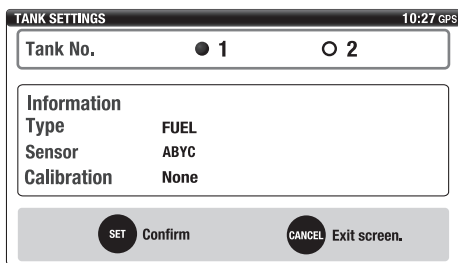
燃料タンクの設定を行った場合は、タンクセンサーの補正を行ってください。

“FUEL” に設定してあるすべての燃料タンクに対して、タンクセンサーの補正を行わないと使用可能燃料量 (AVAL) が表示されません。

1. メイン画面で [MENU] ボタンを押して、メニュー画面を開きます。
2. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Tank Set” 設定画面を開きます。



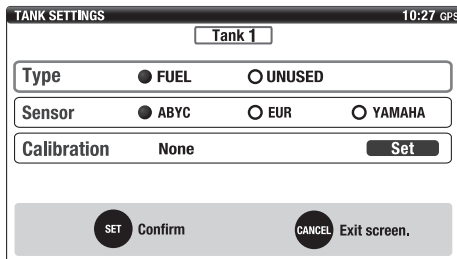
3. 十字キーの [◀▶] (左右) ボタンで該当する燃料タンク番号を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。



4. 十字キーで該当する “Type” と “Sensor” の項目を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要点

“Type” で “FUEL” を選択した場合はタンクセンサーの補正を行ってください。補正方法については、「タンクセンサーの補正」を参照してください。(6 ページ)

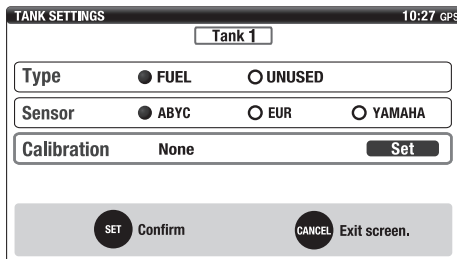


## タンクセンサーの補正

タンクセンサーの補正はタンクが空の状態から行います。

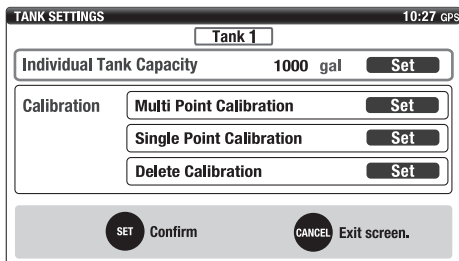
センサータイプまたはタンク容量を変更した場合は補正情報がリセットされます。

1. タンクセンサーの設定を行った後、十字キーで “Calibration” を選択します。  
[SET] ボタンを押して “Calibration” メニューを表示させます。



2. “Individual Tank Capacity” を選択し [SET] ボタンを押します。

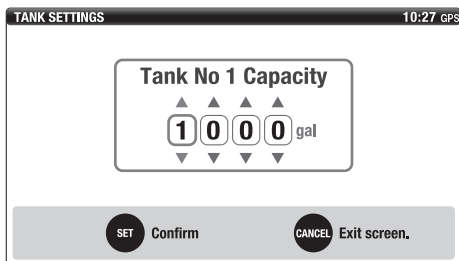
# 初期設定



3. 十字キーで設定する燃料タンクの容量を設定します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要点

- タンクごとに燃料タンク容量を設定します。
- 燃料タンク容量の単位は変更することができます。変更方法については、「表示単位の設定 (Units)」を参照してください。(31 ページ)

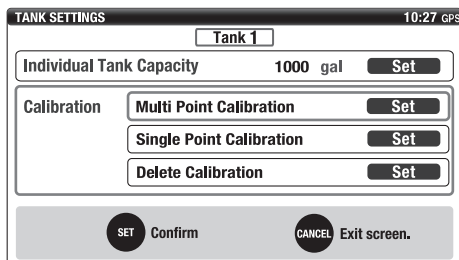


4. “Calibration” を選択して、[SET] ボタンを押します。

## 要点

- “Multi Point Calibration” は 5 段階の補正、“Single Point Calibration” は 1 段階の補正を行います。
- 補正されている内容を削除する場合は “Delete Calibration” を選択してください。

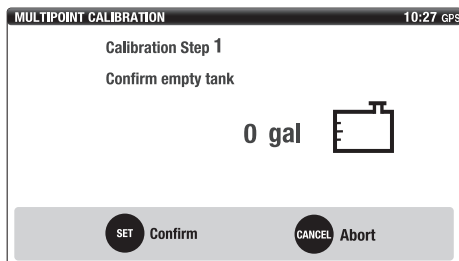
- 燃料タンクが空の状態に限り “Multi Point Calibration” または “Single Point Calibration” のステップに進めません。



5. 燃料タンクが空の状態（タンクセンサーが底についている状態）で [SET] ボタンを押します。
6. 確認画面が表示されるので [SET] ボタンを押します。

## 要点

- “Single Point Calibration” の場合は、これでタンクセンサーの補正は終了です。
- “Multi Point Calibration” の場合は、各ポイントで設定した情報が記録されます。中断した場合でも、次回はそのポイントから設定できます。

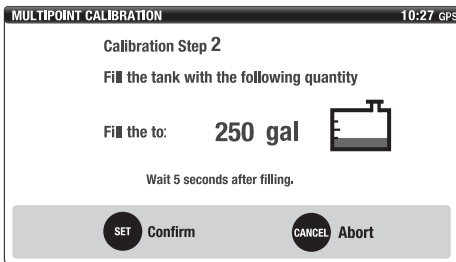


7. タンク容量の 25% まで燃料を入れます。

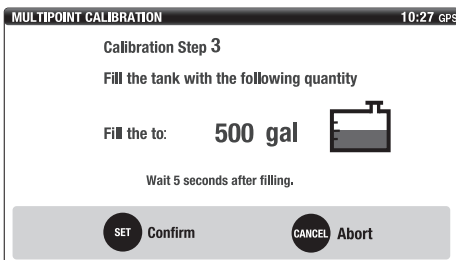
## 要 点

- 表示される容量は設定したタンク容量に対する 25% の容量です。
- タンクセンサーの抵抗値が補正を行うポイントの値になっていない場合は、エラーメッセージが出て補正を行うことができません。燃料タンクに入っている燃料の量を確認してください。

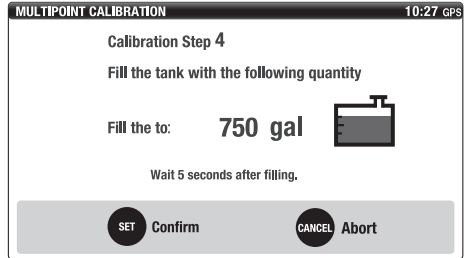
8. 燃料を入れてから 5 秒経過後に [SET] ボタンを押します。
9. 確認画面が表示されるので [SET] ボタンを押します。



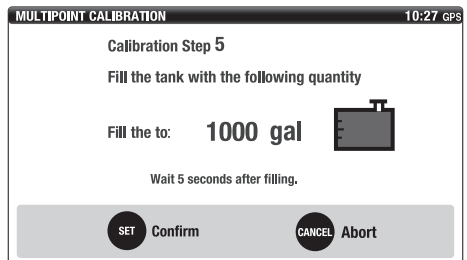
10. タンク容量の 50% まで燃料を入れます。
11. 燃料を入れてから 5 秒経過後に [SET] ボタンを押します。
12. 確認画面が表示されるので [SET] ボタンを押します。



13. タンク容量の 75% まで燃料を入れます。
14. 燃料を入れてから 5 秒経過後に [SET] ボタンを押します。
15. 確認画面が表示されるので [SET] ボタンを押します。



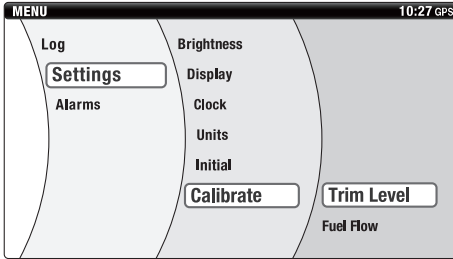
16. タンク容量の 100% まで燃料を入れます。
17. 燃料を入れてから 5 秒経過後に [SET] ボタンを押します。
18. 確認画面が表示されるので [SET] ボタンを押します。
19. タンクセンサーの補正が終了しました。[SET] ボタンを押します。



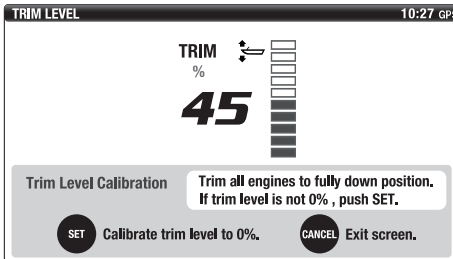
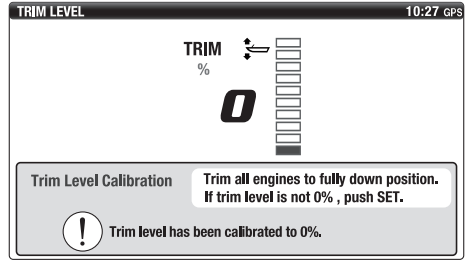
# 初期設定

## トリム角度のゼロ調整

1. 船外機をフルチルトダウンします。
2. メイン画面で [MENU] ボタンを押して、メニュー画面を開きます。
3. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Trim Level” 設定画面を開きます。



4. 画面に表示されている数値が“0%”になっていることを確認してください。
5. “0%” になっていない場合は [SET] ボタンを押してリセットしてください。



## メイン画面

メイン画面は、各種情報を数値やグラフィックで表示します。画面表示には、“COMBO”、“ENGINE”、“BOAT”、“TROLL”の4種類があり、切替えることができます。

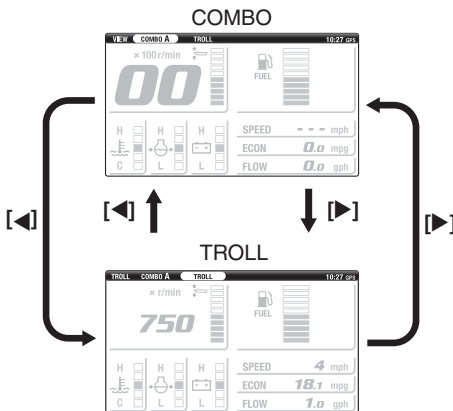
### 要点

船外機によっては、表示できない機能があります。詳細については、ヤマハ取扱店にお問い合わせください。

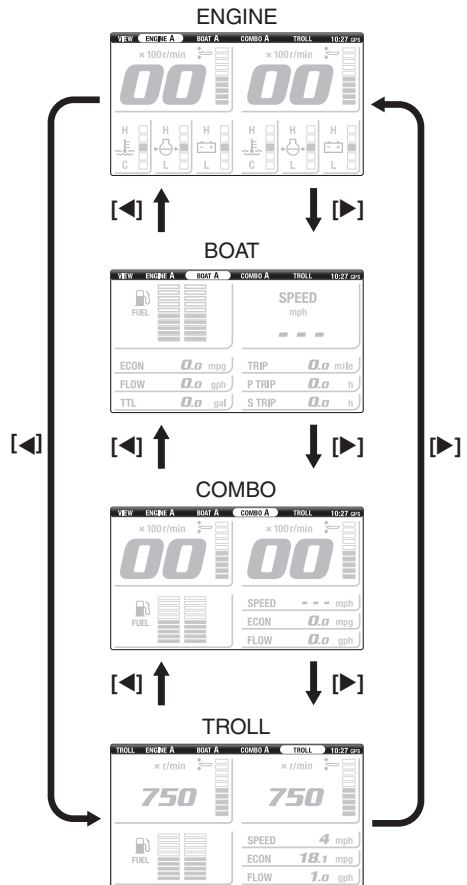
### 画面切替え操作

メイン画面は、お好みに合わせて切替えることができます。十字キーの[◀▶]（左右）ボタンを押すと、メイン画面が切替わります。

#### 1 機掛け仕様



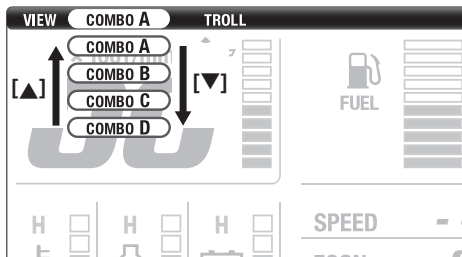
#### 2 機掛け仕様



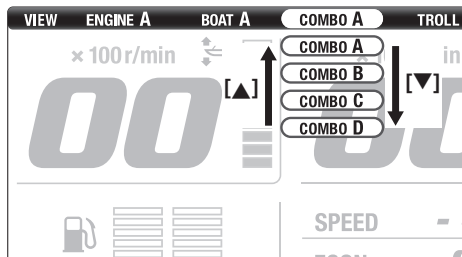
メイン画面の“COMBO”、“ENGINE”、“BOAT”は、登録したA～Dの表示レイアウトに切替えることができます。表示レイアウトの切替えは、十字キーの[▲▼]（上下）ボタンを押して行います。表示レイアウトは、A～Dの最大4個まで登録することができます。登録方法については「画面のカスタマイズ (Favorites)」を参照してください。(22 ページ)

# メイン画面

## 1 機掛け仕様

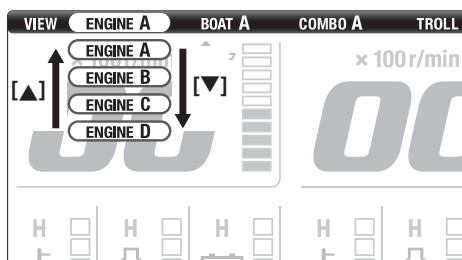


## COMBO



## 2 機掛け仕様

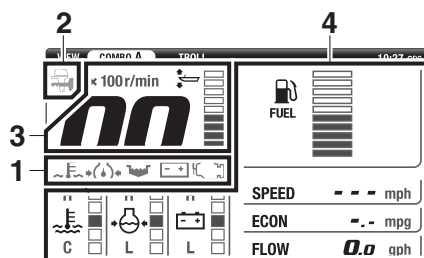
### ENGINE



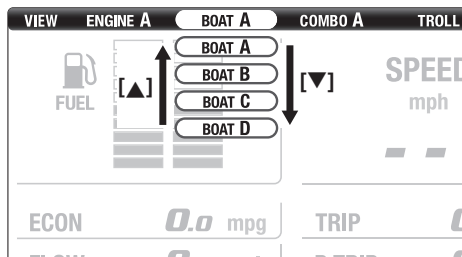
## COMBO

エンジン情報とボート・環境情報を任意で組合せて表示します。

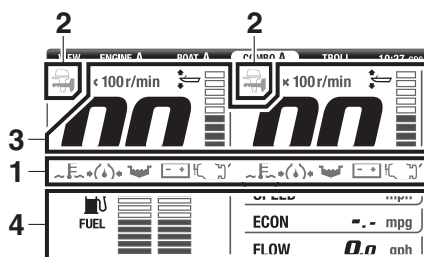
### 1 機掛け仕様



### BOAT



### 2 機掛け仕様



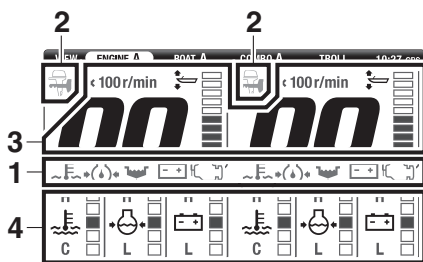
1. 警報表示部 (アイコン)
2. Y-COP 表示部
3. 基本表示部
4. 任意選択部



## ENGINE

任意のエンジン情報を表示します。

1 機掛け仕様の場合は表示されません。

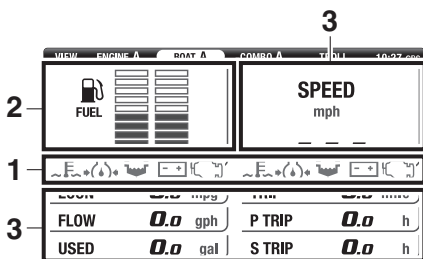


1. 警報表示部 (アイコン)
2. Y-COP 表示部
3. 基本表示部
4. 任意選択部

## BOAT

任意のボート・環境情報を表示します。

1 機掛け仕様の場合は表示されません。

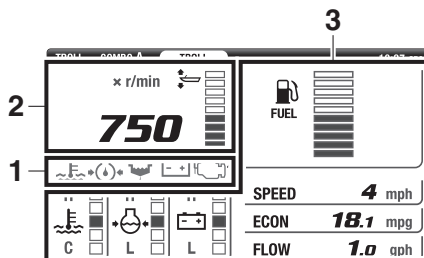


1. 警報表示部 (アイコン)
2. 基本表示部
3. 任意選択部

## TROLL

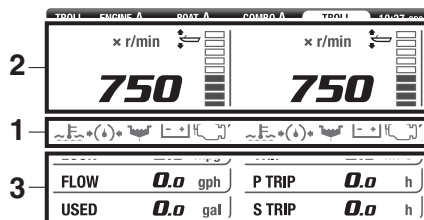
トローリングモードへの切替え、トローリング回転数の調整を行うことができます。調整方法については、「トローリング回転数の調整」を参照してください。(16 ページ)

1 機掛け仕様



1. 警報表示部 (アイコン)
2. 基本表示部
3. 任意選択部

2 機掛け仕様

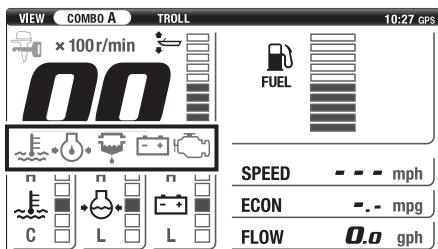


1. 警報表示部 (アイコン)
2. 基本表示部
3. 任意選択部

# メイン画面

## 警報表示

警報表示部は、「オーバーヒート警報」、「油圧低下警報」、「水検知警報」、「バッテリー電圧低下警報」、「エンジン点検警報 / メンテナンス警報」を赤色の警報灯（アイコン）で表示します。警報灯が表示された場合は、警報灯ごとの対処指示に従ってください。

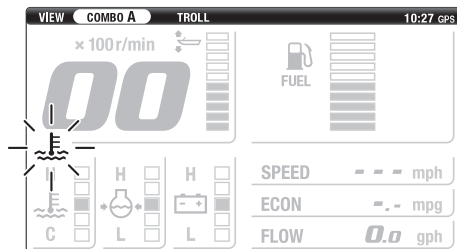


## ■ オーバーヒート警報

エンジンがオーバーヒートした場合に、冷却水温アイコンが点滅して警報します。同時にエンジン回転数が制限され、ブザーが鳴ります。エンジンを停止して、冷却水取入口の詰まりがないことを確認してください。

### 注意

- ・オーバーヒート警報が表示された状態でのエンジン使用は避けてください。エンジンの重大な損傷につながるおそれがあります。
- ・原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店に相談ください。

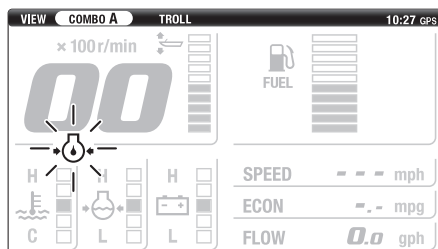


## ■ 油圧低下警告

エンジン油圧が規定値より低下した場合に、油圧アイコンが点滅して警報します。同時にエンジン回転数が制限され、ブザーが鳴ります。エンジンを停止して、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイル量の点検方法については、船外機本体の取扱説明書を参照してください。

### 注意

- ・オイルを入れずにエンジンを運転しないでください。エンジンの重大な損傷につながるおそれがあります。
- ・原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店に相談ください。

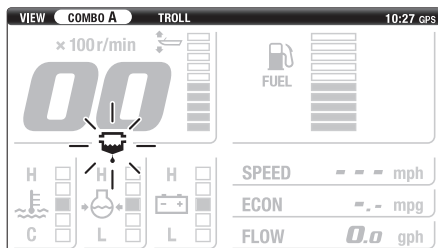


## ■ 水検知警報

航行中、燃料水分離器（燃料フィルター）に水が溜まった場合に、水検知警告アイコンが点滅して警報します。エンジンを停止して、燃料水分離器（燃料フィルター）から水を抜いてください。水抜き作業については、船外本体の取扱説明書を参照してください。

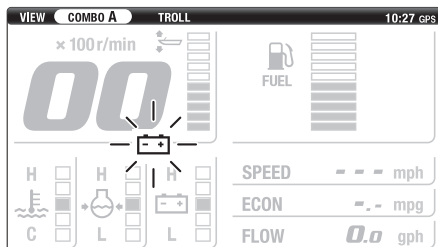
### 注意

- ・水が混ざった燃料がエンジンに送られると、エンジン故障の原因になります。
- ・原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店に相談ください。



## ■ バッテリー電圧低下警報

バッテリー電圧が低下した場合に、バッテリーアイコンが点滅して警報します。警報が作動したときは、ただちにエンジンを始動してバッテリーを充電してください。エンジン運転中にもかかわらず常に警報が作動する場合は、ただちに帰港してヤマハ取扱店でバッテリーの充電システムの点検を受けてください。



## ■ エンジン点検警報 / メンテナンス警報

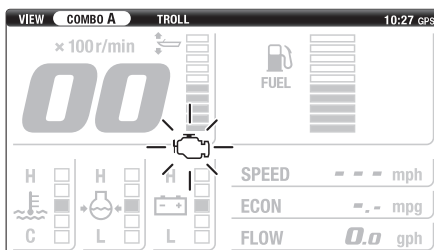
エンジンに異常がある場合に、エンジン点検アイコンが点滅して警報します。ただちに帰港して、ヤマハ取扱店で点検を受けてください。また、前回のメンテナンス時点から 100 時間以上使用した場合にも、エンジン点検アイコンが点灯します。

### 注意

エンジンが正常に制御できません。速やかにヤマハ取扱店で点検を受けてください。

### 要点

- エンジン点検警報の場合は、異常が解消されるまでエンジン点検アイコンの表示を継続します。
- メンテナンス警報の場合は、メンテナンススケジュールがリセットされるまでエンジン点検アイコンの表示を継続します。
- 前回のメンテナンスから 100 時間以上経過し、メンテナンス時期の告知があった場合は、速やかにヤマハ取扱店で、点検・整備をお受けください。
- メンテナンススケジュールのリセット方法については、「メンテナンススケジュール (Maintenance)」を参照してください。(20 ページ)

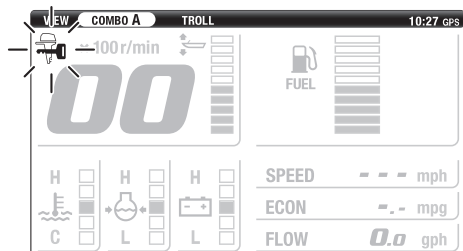


# メイン画面

## Y-COP 表示

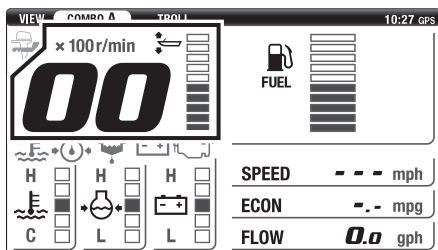
Y-COP がロックされていると、Y-COP アイコンが点灯します。

\* オプションの Y-COP の取付けが必要です。



## 基本表示

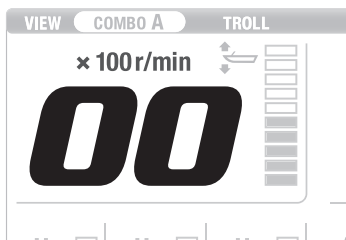
基本表示部には、タコメーター、トリムメーター、燃料レベルが表示されます。



## ■ タコメーター

タコメーターは、1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

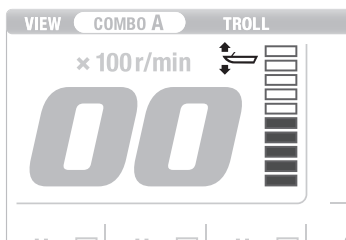
## COMBO、ENGINE、TROLL



## ■ トリムメーター

トリムメーターは、船外機のトリム角度を 10 段階で表示します。船外機がトリム角度範囲を超えてチルト角度に入った場合は、すべてのセグメントが橙色になり点滅します。

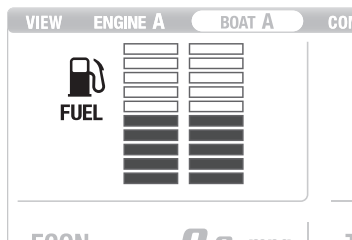
## COMBO、ENGINE、TROLL



## ■ 燃料レベル

燃料レベルは、燃料タンクに入っている燃料量を 10 段階で表示します。満タン時はすべてのセグメントが点灯しています。燃料が少なくなると、一番下段のセグメントが点滅表示します。二つの燃料タンクは個別に燃料レベルを表示します。

## BOAT



### 任意選択表示

任意選択表示部に表示させるアイテムは、お好みに合わせてカスタマイズすることができます。カスタマイズ方法については、「画面のカスタマイズ (Favorites)」を参照してください。(22 ページ)

### トローリング回転数の調整

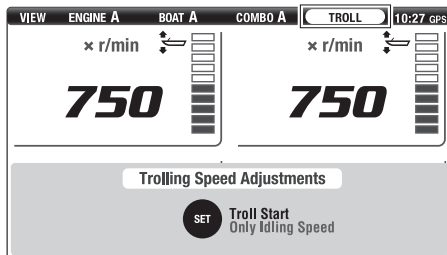
トローリング回転数の調整は、メイン画面の“TROLL”で行います。トローリング回転数は 50 r/min 間隔で調整することができます。2 機掛け仕様のときは、双方の船外機のトローリング回転数が同期します。

トローリング回転数の調整機能がない船外機には対応していません。

以下の条件がすべて満たされているときに限り、トローリングモードに切替ができます。

- エンジン運転状態 (シフトイン)
- スロットル全閉
- “TROLL” 画面

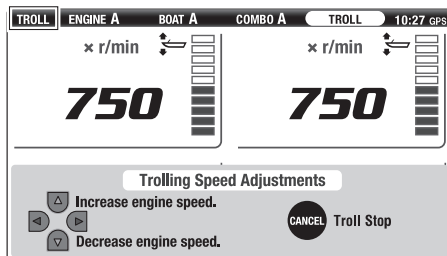
1. メイン画面の“TROLL”を選択します。



2. [SET] ボタンを押すと、トローリングモードに切替わります。

### 要点

トローリングモードに切替わると、ステータスバーの“VIEW”表示が“TROLL”表示に切替わります。



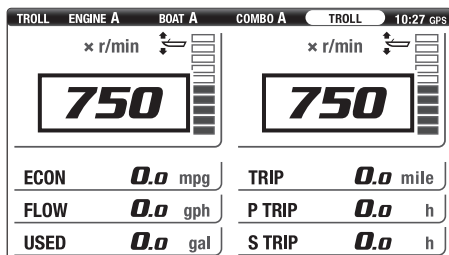
3. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで任意のトローリング回転数に調整します。

### 要点

- [▲] (上) ボタンを押すと、トローリング回転数が上がります。
- [▼] (下) ボタンを押すと、トローリング回転数が下がります。
- 暖機運転中は、トローリング回転数を暖機アイドリング回転数より下げることはできません。
- 調整可能なトローリング回転数の上限・下限は、船外機により異なります。

# メイン画面

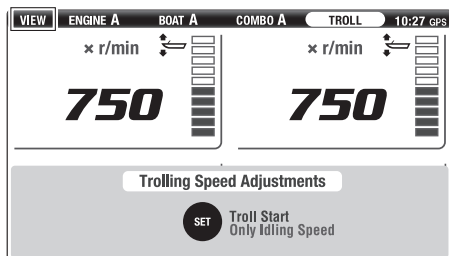
- シフトが N の位置のときは、トローリング回転数を調整できません。



- トローリングモードを解除する場合は、シフトを N の位置にして、[CANCEL] ボタンを押してください。

## 要 点

- トローリングモードが解除されると、ステータスバーの“TROLL”表示が“VIEW”表示に切り替わります。
- シフトが F または R の位置であっても、完全にスロットルが閉じた状態であれば、[CANCEL] ボタンを押してトローリングモードを解除することができます。
- エンジンを停止させた場合、エンジン回転数が 3000 r/min を超えた場合は、自動的にトローリングモードが解除されます。

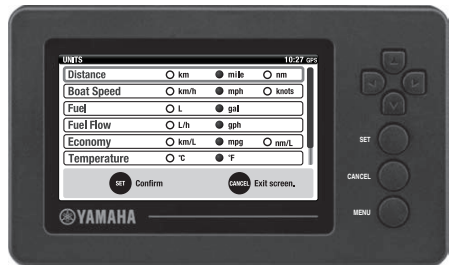
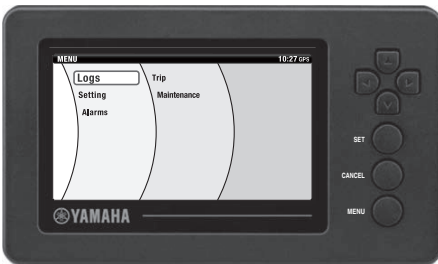
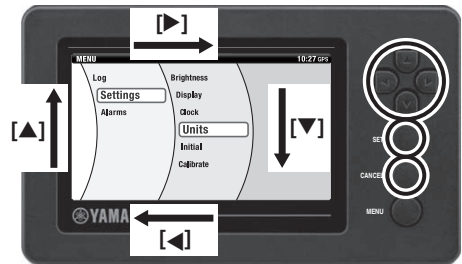
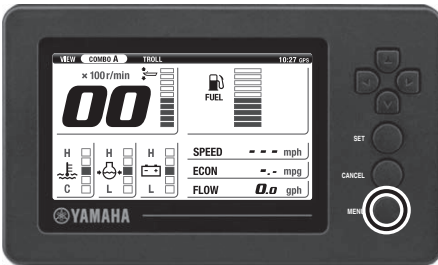


## メニュー画面

メニュー画面は、各種設定やリセット、船外機に記録された情報の確認を行うことができます。

### 画面切替え操作

1. メイン画面で [MENU] ボタンを押して、メニュー画面を開きます。

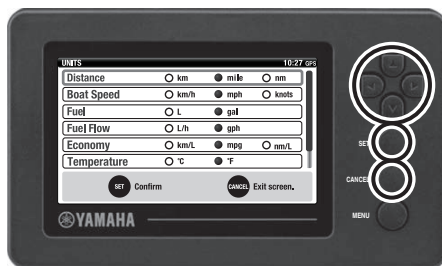


2. 十字キーで該当する項目を選択して、[SET] ボタンを押すと設定画面が表示されます。  
左端のいずれかの項目が選択されている状態で [CANCEL] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。
3. 十字キーと [SET] ボタンで、該当する項目を設定します。  
[CANCEL] ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

# メニュー画面

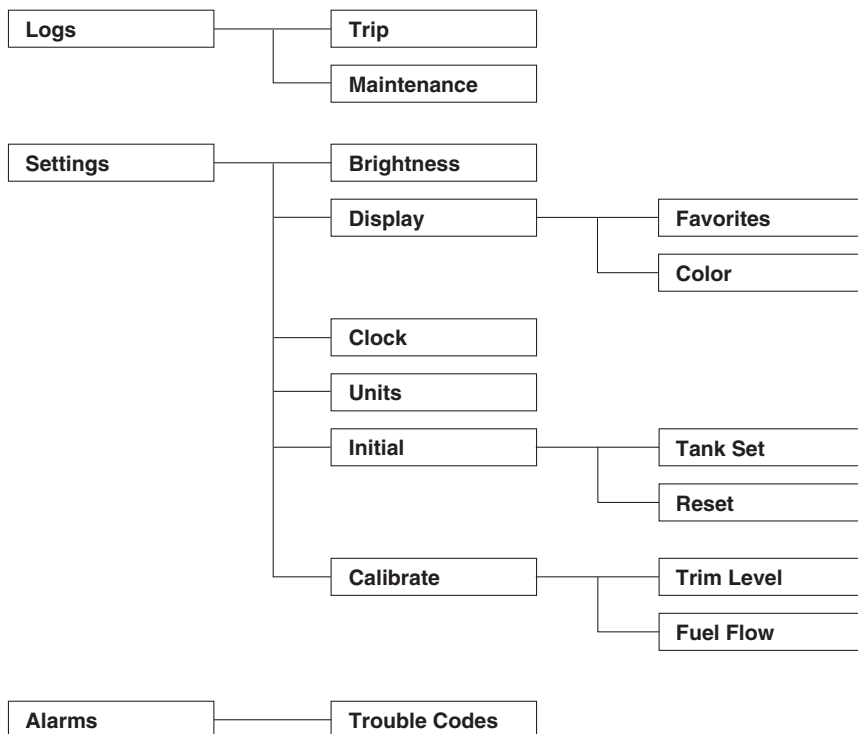
## 要 点

[MENU] ボタンを押すとメイン画面に戻りますが、[SET] ボタンを押して設定内容を確定させていない項目は、変更した設定内容が反映されません。



## 機能

メニュー画面は、以下の項目で構成されています。





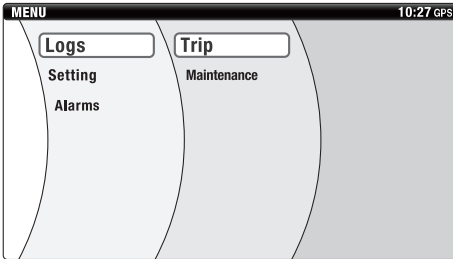
## メニュー項目

船外機の搭載数により表示は異なります。ここでは 2 機掛け仕様を基本に説明します。

### ■ トリップ情報のリセット (Trip)

燃料残量 / 燃料消費量、航走距離、任意運転時間、累積運転時間をリセットすることができます。

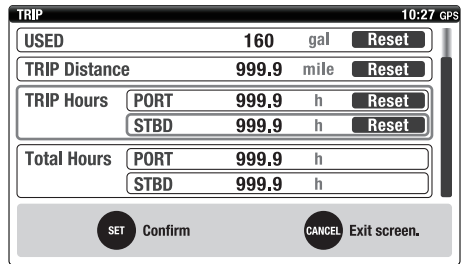
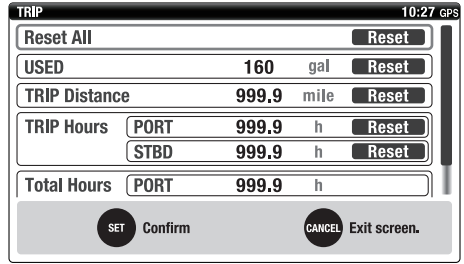
1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Trip” 設定画面を開きます。



2. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンでリセットする項目を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要 点

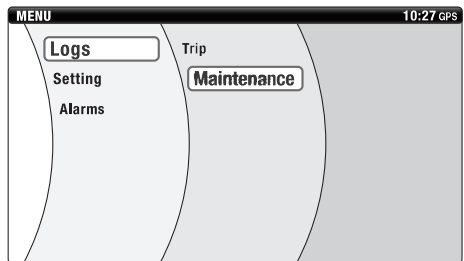
- Reset All : “Trip” の設定をすべてリセットします。
- USED : 燃料消費量をリセットします。
- TRIP Distance : 航走距離をリセットします。
- TRIP Hours : トリップ運転時間をリセットします。
- メイン画面で [CANCEL] ボタンを押しても “Trip” の設定画面が表示されます。



### ■ メンテナンススケジュール管理 (Maintenance)

メンテナンススケジュールの確認とスケジュールをリセットすることができます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Maintenance” 設定画面を開きます。



2. メンテナンススケジュールが表示されます。

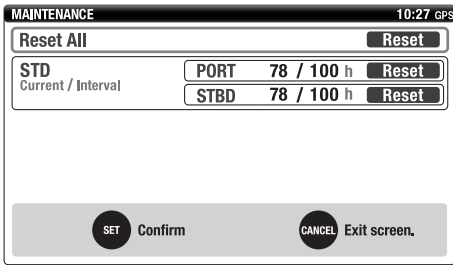
# メニュー画面

## 要 点

- “Current” とは、前回メンテナンススケジュール（リセット時）からの経過時間です。
  - “Interval” とは、推奨のメンテナンス間隔です。
3. メンテナンススケジュールをリセットする場合は、十字キーの [▲▼]（上下）ボタンでリセットするエンジンを選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要 点

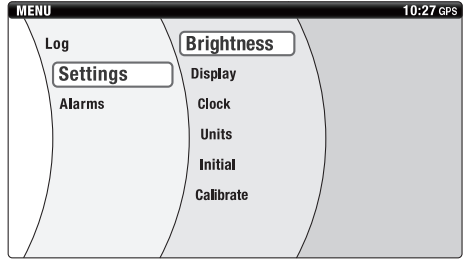
- Reset All：2 機掛けエンジンのみ表示されます。両方のエンジンメンテナンススケジュールをリセットします。
- STD：各エンジンのメンテナンススケジュールを確認、リセットすることができます。
- メンテナンス間隔は、100 h から変更することはできません。



## ■ 画面の明るさ調整 (Brightness)

画面の明るさ調整、メーターの同期、昼夜画面を設定することができます。

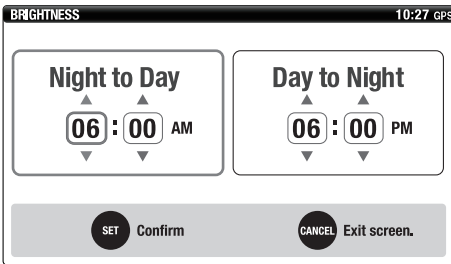
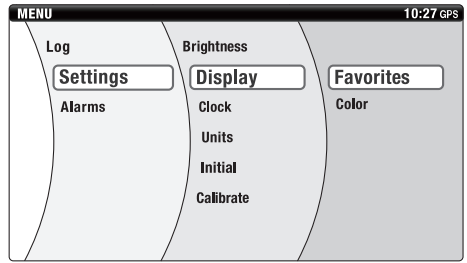
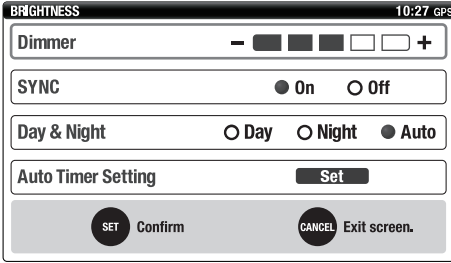
1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Brightness” 設定画面を開きます。



2. 十字キーの [▲▼]（上下）ボタンで設定する項目を選択します。  
十字キーの [◀▶]（左右）ボタンで設定します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要 点

- Dimmer：画面の明るさを調整します。明るさの調整レベルは 5 段階で、0 のときはバックライトがオフになります。
- SYNC：“On” を選択すると 1 つのメーターで設定した内容が接続している他のメーターに反映されます。
- Day & Night：“Night” を選択すると、昼画面の明るさを半減させた夜画面に切替わります。“Auto” を選択すると、“Auto Timer Setting” で設定した時刻に昼夜画面切替えを行います。
- Auto Timer Setting：夜画面から昼画面に切替える時刻、昼画面から夜画面に切替える時刻を設定することができます。調整範囲は、AM 0:00 ~ PM 11:45 で 15 刻みです。
- Auto Timer Setting を有効にしても時刻情報の受信がない場合は、昼画面が表示されます。
- メイン画面で [SET] ボタンを押しても “Brightness” の設定画面が表示されます。

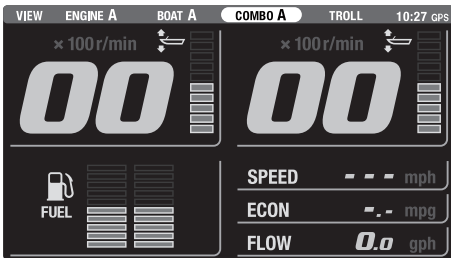


2. 十字キーでカスタマイズする“Screen Type”を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要 点

- 1 機掛け仕様は “Combo”、“Troll” を選択できます。
- 2 機掛け仕様は “Engine”、“Boat Stats”、“Combo”、“Troll” を選択できます。
- “Screen Type” は、各メイン画面に対して最大 4 個 (A ~ D) まで登録することができます。ただし、“Troll” を選択した場合は登録できません。

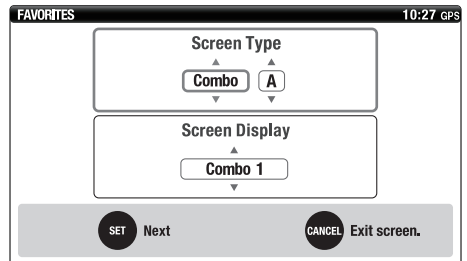
## “Night” 選択時のメイン画面



## ■ 画面のカスタマイズ (Favorites)

メイン画面の“ENGINE”、“BOAT”、“COMBO”、“TROLL”の表示内容をカスタマイズすることができます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Favorites”設定画面を開きます。

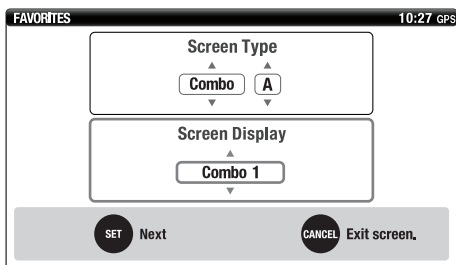


3. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンでカスタマイズする “Screen Display” を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

# メニュー画面

## 要点

- 1 機掛け仕様は、“Display”、“No Display” を選択できます。
- 2 機掛け仕様は、“Combo 1”、“Combo 2”、“No Display” を選択できます。
- “No Display” を選択した場合は、“Screen Type” で選択した表示レイアウトはメイン画面で表示されません。
- “Screen Type” が “Troll” の場合は設定できません。

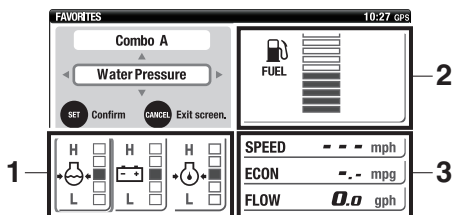


4. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで表示させるアイテムを選択します。十字キーの [◀▶] (左右) ボタンでアイテムの表示位置を切替えます。[SET] ボタンで確定します。

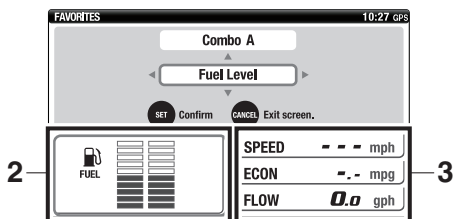
## 要点

- “Troll” の表示レイアウト設定画面は、1 機掛け仕様の場合は “Combo” と同じ、2 機掛け仕様の場合は “Engine” と同じです。

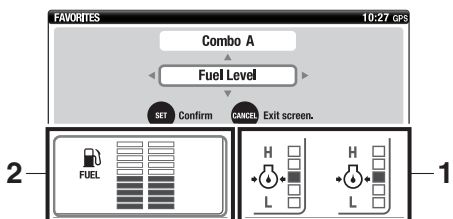
## Combo、Troll (1 機掛け仕様)



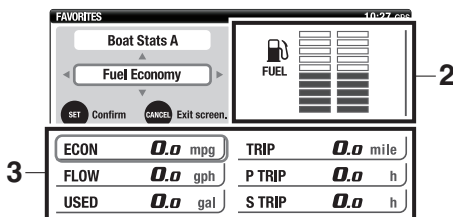
## Combo 1 (2 機掛け仕様)



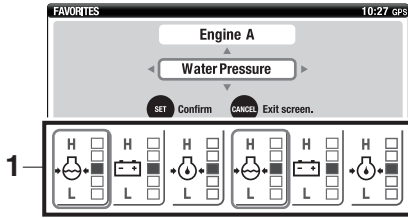
## Combo 2 (2 機掛け仕様)



## Boat Stats







## Engine、Troll (2機掛け仕様)





1. 任意選択表示部 1
2. 任意選択表示部 2
3. 任意選択表示部 3

# メニュー画面


## 任意選択表示部 1 のアイテム一覧

	<p><b>バッテリー電圧値 (Batt Voltage Value)</b> エンジンのバッテリー電圧を数値で表示します。</p> <p><b>要 点</b> バッテリー電圧が 12 V 未満まで低下するか、16 V 以上まで上昇した場合は、電圧値が点滅して警報します。</p>
	<p><b>バッテリー電圧レベル (Batt Voltage Level)</b> エンジンのバッテリー電圧を 5 段階で表示します。</p> <p><b>要 点</b> “L” は LOW を、“H” は HIGH を表しています。</p>
	<p><b>冷却水温 (Cooling Water Temp)</b> 冷却水温を 5 段階で表示します。</p> <p><b>要 点</b> “C” は COOL を、“H” は HOT を表しています。</p>
	<p><b>冷却水圧 (PSI) (Water Pressure(PSI))</b> エンジン冷却水圧を 5 段階で表示します。 * オプションの水圧センサーの取付けが必要です。</p> <p><b>注 意</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>スロットル全開航走時に冷却水圧が 10 psi (69 kPa) 以下に低下した場合は、エンジンを停止して冷却水取入口のつまりを点検してください。</li><li>原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。</li></ul>

 <p>The icon shows a water pump symbol with 'H' above and 'L' below it. To the right is a vertical scale with five boxes, where the second box from the top is filled with black, indicating a low water pressure level.</p>	<p><b>冷却水圧 (Water Pressure)</b>          エンジン冷却水圧を 5 段階で表示します。          * オプションの水圧センサーの取付けが必要です。</p> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スロットル全開航走時に冷却水圧の目盛りが 2 段以下になった場合は、エンジンを停止して冷却水取入口のつまりを点検してください。</li> <li>• 原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。</li> </ul> <p><b>要点</b>          “L” は LOW を、“H” は HIGH を表しています。</p>
 <p>The icon shows an oil drop symbol with 'H' above and 'L' below it. To the right is a vertical scale with five boxes, where the second box from the top is filled with black, indicating a low oil pressure level.</p>	<p><b>エンジン油圧 (Oil Pressure)</b>          エンジン油圧を 5 段階で表示します。</p> <p><b>要点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• “L” は LOW を、“H” は HIGH を表しています。</li> <li>• エンジン油圧は、エンジンオイル量を示すものではありません。</li> <li>• F130 以下はエンジン油圧表示ができません。その場合は、エンジン油圧表示以外の表示画面を選択し直してください。</li> <li>• 極低速運転時等、使用状況により、エンジンが正常でも低いエンジン油圧表示となる場合があります。</li> </ul>
	<p><b>表示なし (Hide)</b>          何も表示されません。</p>

# メニュー画面

## 任意選択表示部 2 のアイテム一覧

<p>FLOW gph <b>000.0</b></p>	<p><b>総燃料流量 (Total Fuel Flow)</b> 1 時間あたりの全エンジンの総燃料流量を表示します。</p>
<p>ECON mpg <b>00.0</b></p>	<p><b>燃費 (Fuel Economy)</b> 単位燃料あたりの航走距離を表示します。 * オプションのスピードセンサー、マルチセンサーまたは GPS の取付けが必要です。</p> <p><b>要 点</b> 燃費はボートの種類や様々な自然条件に影響されるため、常に変化します。</p>
<p>SPEED mph <b>000</b></p>	<p><b>ボートスピード (Boat Speed)</b> ボートの対地速度または対水速度を表示します。 * 対地速度を表示させるには、GPS の取付けが必要です。 * 対水速度を表示させるには、オプションのスピードセンサーまたはマルチセンサーの取付けが必要です。</p>
<p>AVAL gal <b>0000</b></p>	<p><b>燃料残量 (Available Fuel)</b> 燃料タンクの総燃料残量を表示します。すべての燃料タンクに対して、タンクセンサーの補正を行わない则表示されません。</p>
<p> FUEL</p>	<p><b>燃料レベル (Fuel Level)</b> 燃料レベルを 10 段階で表示します。満タン時はすべてのセグメントが点灯しています。燃料が少なくなると、最下段のセグメントが点滅表示します。2 つの燃料タンクが接続されている場合は、目盛りが2つ表示され、個別に燃料レベルを表示します。</p>
	<p><b>表示なし (Hide)</b> 何も表示されません。</p>



## 任意選択表示部 3 のアイテム一覧

<p><b>TEMP</b>     <b>000</b>     °F</p>	<p>水温 (Surface Water Temp) 水面温度を表示します。 * オプションのマルチセンサーの取付けが必要です。</p>
<p><b>DEPTH</b>     <b>000</b>     ft</p>	<p>水深 (Depth) 水深を表示します。 * オプションのマルチセンサーの取付けが必要です。</p>
<p><b>TRIP</b>     <b>000.0</b>     h</p>	<p>トリップ運転時間 (Trip Meter (h)) (1 機掛け仕様) エンジンのトリップ運転時間を表示します。</p>
<p><b>S TRIP</b>     <b>000.0</b>     h</p>	<p>右舷機トリップ運転時間 (Stbd Trip Meter (h)) (2 機掛け仕様) 右舷側エンジンのトリップ運転時間を表示します。</p>
<p><b>P TRIP</b>     <b>000.0</b>     h</p>	<p>左舷機トリップ運転時間 (Port Trip Meter (h)) (2 機掛け仕様) 左舷側エンジンのトリップ運転時間を表示します。</p>
<p><b>S FLOW</b>     <b>000.0</b>     gph</p>	<p>右舷機燃料流量 (Stbd Fuel Flow) (2 機掛け仕様) 1 時間あたりの右舷側エンジンの燃料流量を表示します。</p>
<p><b>P FLOW</b>     <b>000.0</b>     gph</p>	<p>左舷機燃料流量 (Port Fuel Flow) (2 機掛け仕様) 1 時間あたりの左舷側エンジンの燃料流量を表示します。</p>
<p><b>FLOW</b>     <b>000.0</b>     gph</p>	<p>総燃料流量 (Total Fuel Flow) 1 時間あたりの全エンジンの総燃料流量を表示します。</p>
<p><b>AVAL</b>     <b>0000</b>     gal</p>	<p>燃料残量 (Available Fuel) 燃料タンクの総燃料残量を表示します。すべての燃料タンクに対して、タンクセンサーの補正を行わないと表示されません。</p>

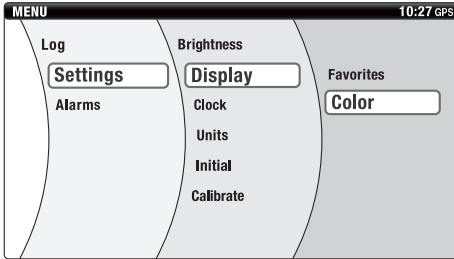
## メニュー画面

<p><b>USED</b>    <b>000.0</b> gal</p>	<p><b>総燃料消費量 (TTL Fuel Consumption)</b> 全エンジンの総燃料消費量を表示します。</p> <p><b>要 点</b> 総燃料消費量は、9999 gal (9999 L) 以上の計測はできません。その際は、数字が点滅表示して計測不能を知らせます。</p>
<p><b>TRIP</b>    <b>0000</b> mile</p>	<p><b>航走距離 (Trip Distance)</b> スピードセンサー、マルチセンサー、GPS からの情報を航走距離に変換して表示します。 * オプションのスピードセンサー、マルチセンサーまたは GPS の取付けが必要です。</p> <p><b>要 点</b> 航走距離は潮流等の様々な自然条件に影響されるため、実際の航走距離とは異なる場合があります。</p>
<p><b>ECON</b>    <b>00.0</b> mpg</p>	<p><b>燃費 (Fuel Economy)</b> 単位燃料あたりの航走距離を表示します。 * オプションのスピードセンサー、マルチセンサーまたは GPS の取付けが必要です。</p> <p><b>要 点</b> 燃費はボートの種類や様々な自然条件に影響されるため、常に変化します。</p>
<p><b>SPEED</b>    <b>000</b> mph</p>	<p><b>ボートスピード (Boat Speed)</b> ボートの対地速度または対水速度を表示します。 * 対地速度を表示させるには、GPS の取付けが必要です。 * 対水速度を表示させるには、オプションのスピードセンサーまたはマルチセンサーの取付けが必要です。</p>
	<p><b>表示なし (Hide)</b> 何も表示されません。</p>

## ■ 背景色の設定 (Color)

メイン画面の背景、文字色を設定できます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Color” 設定画面を開きます。

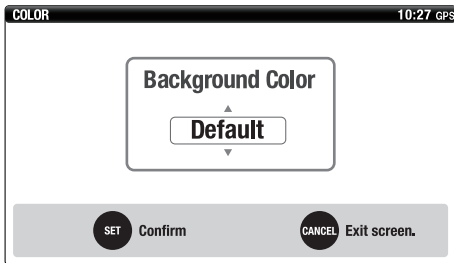


2. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで色を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

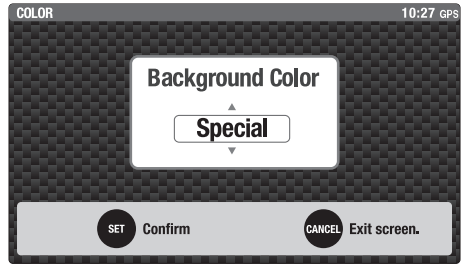
## 要点

背景色は “Default”、 “Special” の 2 種類から選択できます。

## Default



## Special



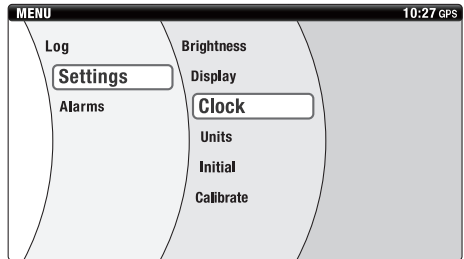
## ■ 時刻の調整 (Clock)

時刻オフセット値を設定できます。

サマータイムや時差の調整を行います。

\* 時刻を表示させるには、GPS の取付けが必要です。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Clock” 設定画面を開きます。

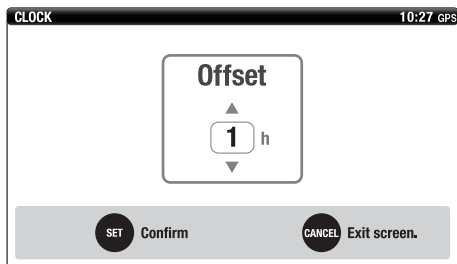


2. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで調整する時間を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要点

調整範囲は、- 12h ~ +12 です。

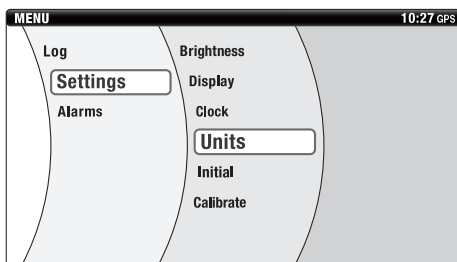
# メニュー画面



## ■ 表示単位の設定 (Units)

表示単位を設定することができます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Units” 設定画面を開きます。



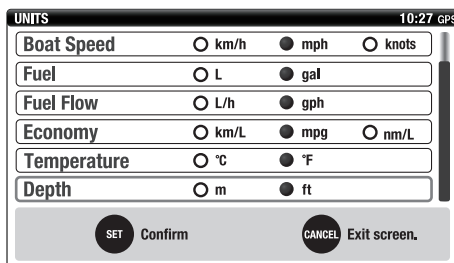
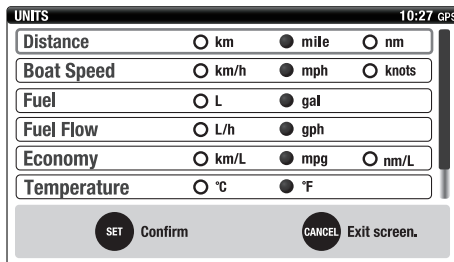
2. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで設定する項目を選択します。  
十字キーの [◀▶] (左右) ボタンで単位を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

## 要 点

- ・ 初期状態は下記の mile 列 (灰色) の単位が設定されています。
- ・ Distance の単位設定を変更すると下記の表の組合せで一括変換されます。

Distance	km	mile	nm
Boat Speed	km/h	mph	knots
Fuel	L	gal	L
Fuel Flow	L/h	gph	L/h
Economy	km/L	mpg	nm/L
Temperature	°C	°F	°C
Depth	m	ft	m

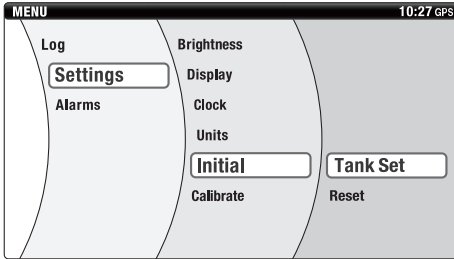
- ・ Distance : 距離は、km、mile (陸上マイル /1.609 km)、nm (海里 / 1.852 km) の単位から選択できます。
- ・ Boat Speed : 速度は、km/h、mph、knots の単位から選択できます。
- ・ Fuel : 燃料量は、L、gal の単位から選択できます。
- ・ Fuel Flow : 燃料流量は、L/h、gph の単位から選択できます。
- ・ Economy : 燃費は、km/L、mpg、nm/L の単位から選択できます。
- ・ Temperature : 水温は、°C、°F の単位から選択できます。
- ・ Depth : 水深は、m、ft の単位から選択できます。



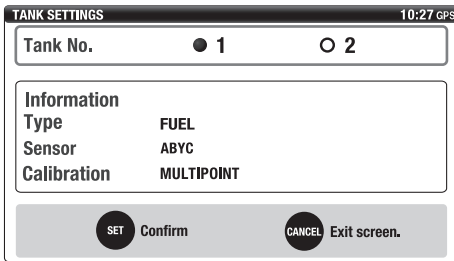
## ■ タンク設定 (Tank Set)

燃料タンクの設定を行うことができます。タンクは2つまで設定できます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Tank Set” 設定画面を開きます。



2. 十字キーの [◀▶] (左右) ボタンで該当するタンク番号を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。



3. 十字キーで該当する“Type”の項目を選択します。

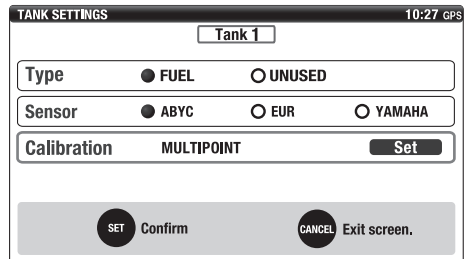
## 要 点

- FUEL：燃料タンク
- UNUSED：タンクを使用しない

4. 十字キーで該当する“Sensor”の項目を選択します。

## 要 点

- ABYC：米国
- EUR：欧州
- YAMAHA：Yamaha
- “Type”で“FUEL”を選択した場合は、タンクセンサーの補正を行ってください。
- Multiple Point Calibration：センサーのポイントを5つ設定します（0%、25%、50%、75%、100%）。
- Single Point Calibration：センサーのポイントを1つだけ設定します（0%）。
- Delete Calibration：補正したタンクセンサーの情報を削除します。
- None：タンクセンサーの補正の設定が完了していないことを示します。
- 非表示：“Type”が“UNUSED”に設定されていることを示します。
- タンクセンサーの補正方法については、「タンクセンサーの補正」を参照してください。（6 ページ）

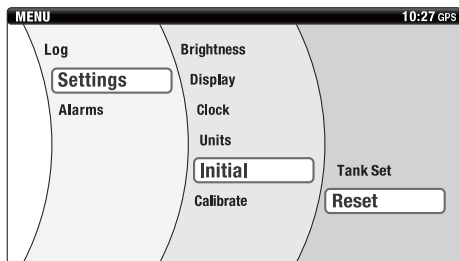


# メニュー画面

## ■ メーターの初期化 (Reset)

メーターの初期設定にリセットすることができます。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の “Reset” 設定画面を開きます。

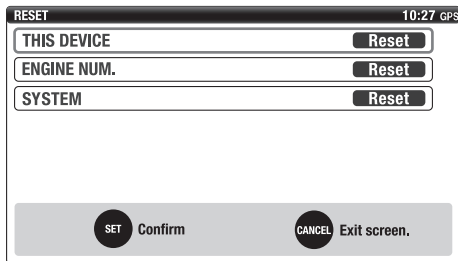


2. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで初期化する項目を選択します。  
[SET] ボタンで確定します。

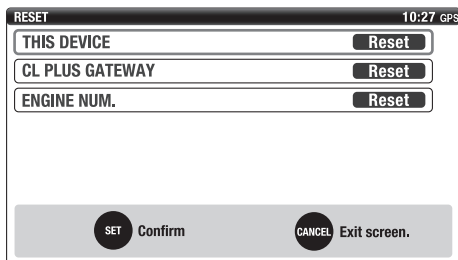
## 要 点

- THIS DEVICE : メーターを初期化および再起動します。
- ENGINE NUM. : 搭載船外機数を初期化します。ただし、タンク設定 (Tank Set) は初期化しません。
- SYSTEM (メカリモコン接続時) : 船外機に保存されているエンジン識別番号情報を初期化します。
- CL PLUS GATEWAY (電子リモコン接続時) : 接続しているコマンドリンクプラスゲートウェイを初期化します。

## メカリモコン接続時

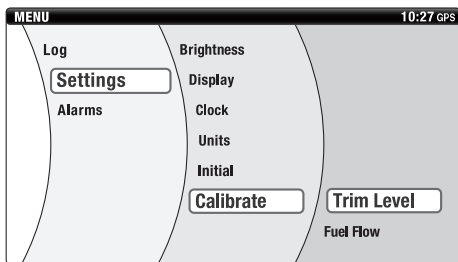


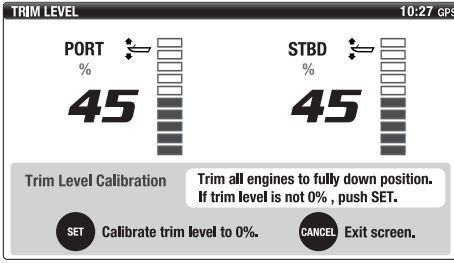
## 電子リモコン接続時



## ■ トリム角度のゼロ調整 (Trim Level)

船外機がいっぱいまで下がった状態でトリムレベルがゼロになるように調整します。調整方法については、「トリム角度のゼロ調整」を参照してください。(9 ページ)





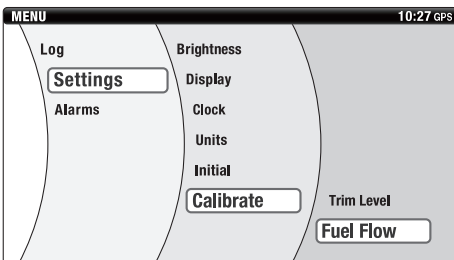
## ■ 燃料消費の補正 (Fuel Flow)

燃料消費量表示と実際の燃料消費量が異なる場合に補正します。

### 要 点

- 燃料流量表示は、自然環境や使用状況により誤差が生じます。
- 燃料流量補正值を変更することにより、総燃料流量 (FLOW)、総燃料消費量 (USED)、燃費 (ECON) の各表示が補正表示されます。

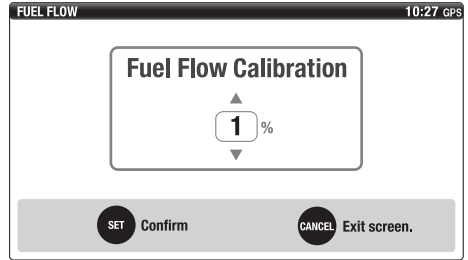
1. 燃料タンクを満タンにして航走します。
2. 走行後、再度燃料タンクを満タンにします。このとき、実際に補給した燃料量と燃料消費量表示の差を確認します。
3. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Fuel Flow” 設定画面を開きます。



4. 十字キーの [▲▼] (上下) ボタンで実際に補給した燃料量とメーターの燃料消費量表示の差を選択します。[SET] ボタンで確定します。

### 要 点

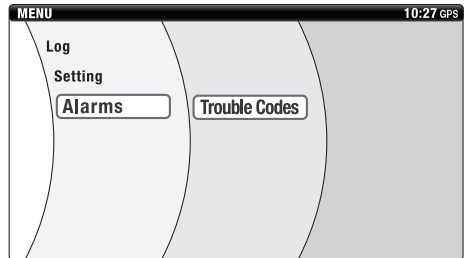
補正範囲は 1% 刻みで -7% ~ +7% です。



## ■ 故障コード (Trouble Codes)

- 発生している故障コードを確認することができます。
- 故障コードが表示されている場合は、ヤマハ取扱店にご相談ください。ヤマハ取扱店へ連絡するときは、表示されている故障コードを伝えてください。

1. 十字キーと [SET] ボタンで、メニュー画面の“Trouble Codes” 確認画面を開きます。

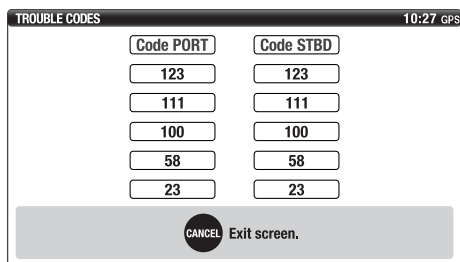


# メニュー画面

---

## 要 点

各エンジンで最大 5 個まで表示します。





## 付録

### 計器の設置要件

次の条件下では、メーターが正しく作動しない場合があります。

- ノイズ源（発電機、ラジオ、アンテナ線など）から近い場合。  
ノイズ源から遠ざけてください。
- 周囲の温度が高い場合。  
高温にさらされない場所で使用してください。
- 外部接続機器が適切でない場合。  
決められた要件の機器を接続してください。（NMEA0183 準拠 GPS など）
- GW（ゲートウェイハブ）が接続されていない場合。  
GWを介してNMEA2000 準拠のGPS、魚群探知機などの外部機器を接続してください。

### 計器のお手入れ

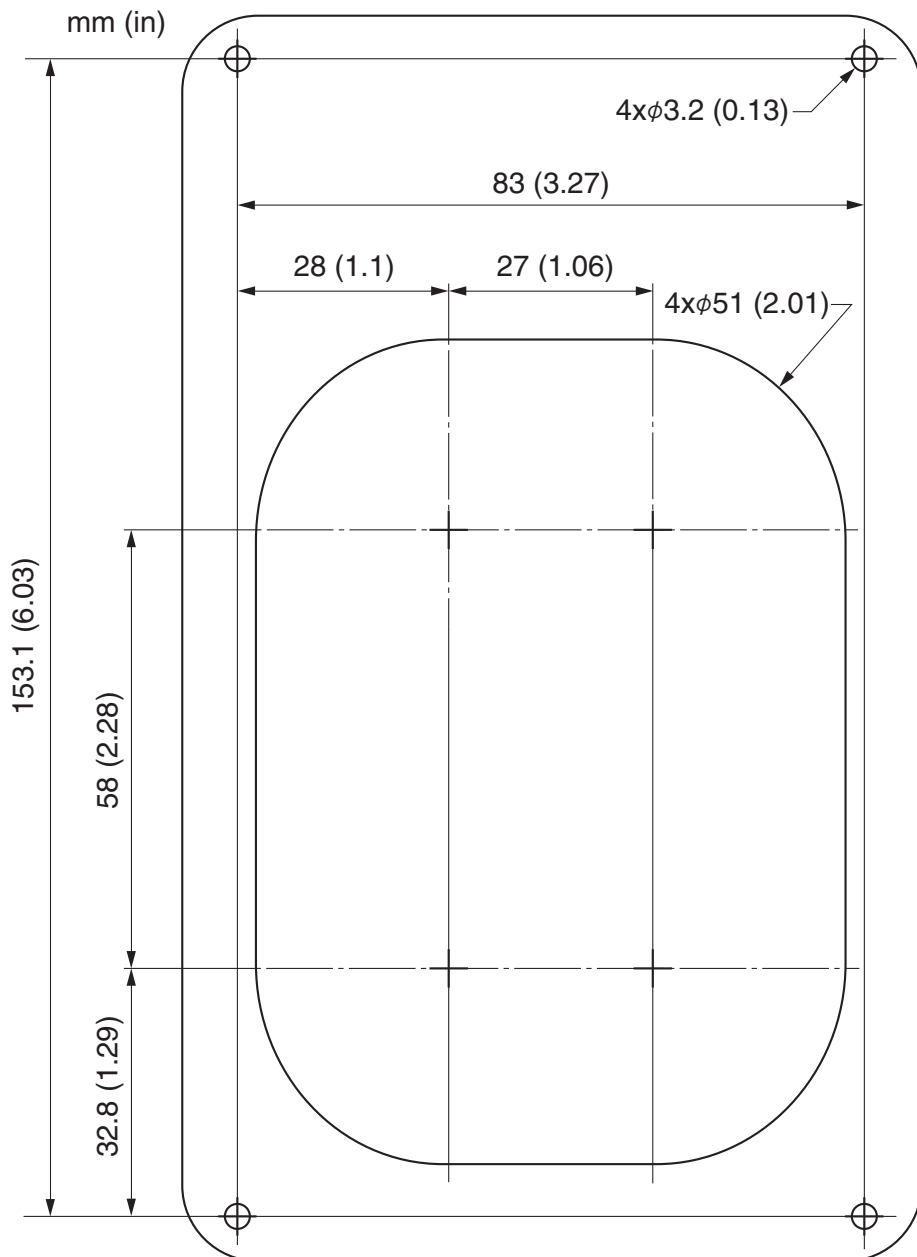
計器が汚れた場合は、糸くずの出ない柔らかい布で拭いてください。

#### 注意

- 高圧洗浄機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が浸入して、故障の原因となります。
- 化学クリーナー（アルカリ性、酸性および中性を含む）、研磨剤の入ったワックス、油、溶剤、薬品等は表面を傷つけますので使用しないでください。

— MEMO —

テンプレート (実寸大)





**不許複製**

名称： コマンドリンク  
6YC マルチファンクション  
メーター  
取扱説明書

部品番号： 6YC-2819U-00

発行： ヤマハ発動機株式会社  
2015年3月



Printed in Japan  
March 2015 - 0.4 x 1 ABE